



新しい朝

府中市立府中第十中学校
学校だより No. 6
校長 伊藤 淳
令和 7 年 10 月 31 日

声聴客(こえちょうかく)を動かす～iVamos! passion y amigos～

3年生の合唱はとても力強く、歌詞の意味や表現も伝わってきました。2年生も技術面や表現力がついていたけれど、3年生の合唱との差を感じたので、来年は3年生を超えられるように頑張りたいです。(「2学年だより」より)

10月10日(金)の音楽祭では、多くの保護者の皆さまにご来場いただき、誠にありがとうございました。会場に来る生徒たちの笑顔、そしてステージ上で見せた一生懸命な姿に、素敵な一日を過ごすことができました。また、今年の音楽祭も、生徒一人ひとりが、そして、学年・学校が成長する機会となりました。

初めて音楽祭を経験した1年生は、練習を重ねるごとに目覚ましい成長の姿を見せてくれました。2年生は、去年の経験を生かした堂々とした姿、そして、次年度最上級生として大きな期待を抱かせる歌声で会場を魅了しました。

そして、3年生は、1・2年生が「こうなりたい」と憧れるような、素晴らしい歌声と歌う姿を披露してくれました。特に、学年合唱「大地讃頌」と「信じる」は、聴く者の心を強く震わせるものでした。

また、有志合唱では、多くの3年生が中心となり、1・2年生、さらには先生方も参加し、素敵な歌声がホールいっぱいに響き渡りました。この有志合唱は、学年の壁を超えた繋がりを生みしました。2年生の作文には「有志合唱で隣の先輩がとても上手だったので、大きな声で歌えるようになった」「最初は不安でしたが、最後には有志合唱の練習がとても待ち遠しく感じていました。また来年も参加したいです」という、うれしい一文がありました。



「賞を取りたい」ではなく、「よい合唱をしたい」「クラスや学年の仲間と心を合わせたい」という思いをもって取り組んでいたことが素敵でした。(保護者アンケートより)

本校の音楽祭は順位を競い合うコンクール形式ではなく、発表会形式です。生徒たちや先生方は、当日の合唱を創りあげるその過程を大切にしてくれました。指揮者、伴奏者、パートリーダー、そして中心となって頑張ってくれた実行委員、支えてくれた先生方、そしてクラスのみんなへの思いを一つに、ホールでの練習後には円陣を組む姿も見られました。また、ステージに向かう他のクラスの生徒に対し、手を振って「頑張って」と励まし、合唱が終わった後には、クラスの関係なく互いの健闘を称え合う、素晴らしい姿がありました。いつも温かく関わり合う生徒の皆さんの、一生懸命で素敵な歌声に包まれ、本当に素敵な時間を過ごすことができたと感じています。

閉会セレモニーでの全校合唱「新しい朝」の後、会場からは大きな拍手が送られました。この大きな拍手は、会場の皆さまから、生徒たち一人ひとり、そして彼らを支え続けた先生方へ思いを届けていただいた…そう感じるものでした。私も感謝を込めて拍手を送りました。

今回の音楽祭は、音楽祭実行委員を中心に十中のみんなで作りに上げた行事です。この経験は、生徒一人ひとりの、そして、十中の未来に必ず繋がっていくものと確信しています。

素敵な1日をありがとうございました。

【笑顔と学びの体験活動プロジェクト】

この事業の目的は、アスリートとの交流を通してパラリンピックの競技やゴールボールについて興味や関心を深め、スポーツの素晴らしさを体感し障害者スポーツを理解することです。10月25日(土)「パラアスリートと一緒に学びチャレンジするゴールボールプログラム」では、講師の兼田友博選手をお迎えしました。ゴールボールは、アイシェードというゴーグルをつけ、鈴が入った1.25 kgあるゴムボールの音を聴きながらプレーする競技です。講演会では、競技のルールや視界をアイシェードで覆い、ボールを狙った方向に投げることや相手の投げたボールのコースや距離感を予測する難しさなど、代表生徒の体験を通して競技の深さを学びました。



【手話体験学習】

10月29日(水)1学年で「手話体験学習」を行いました。この体験学習は、聴覚障害者やろう者の生活について理解を深め、手話を通して多様なコミュニケーションを学ぶことで、共生社会への意識を育てることを目的としています。講師として府中市聴覚障害者協会の高野淳子様と手話通訳者の方がいらっしゃいました。始めに聴覚障害とデフ認知を知る動画を視聴しました。簡単なあいさつや普段からよく使う言葉の手話を学びました。その後は手話を使った伝言ゲームを代表生徒が行いました。言葉を使わずゼスチャーで相手にメッセージを伝えたりメッセージを受け止めようとしたりする人の気持ちは、言葉を越えて「伝えたい」という強い思いによって、互いの理解が深まることを学びました。



【十中ハロウィンとケヤキ並木100周年のシンボルマーク】

生徒の皆さんが「明るい笑顔で登校することができる学校」として、季節やイベントを感じる仕組みを考えました。今回は、吉垣生花店にご協力をいただき、立派なハロウィンの装飾を作っていただきました。これからも生徒の皆さんのアイデアを生かしながらイベントを定着させていこうと考えています。また、廊下には、馬場大門のケヤキ並木国天然記念物指定100周年のシンボルマークとして採用された3年3組小池竜誠さんの作品となった旗を掲示しました。廊下が一気に明るくなりました。



【生徒の活躍】敬称略

○剣道部 第9ブロック中学校秋季剣道大会(新人戦)兼東京都中学校秋季剣道大会予選会 男子団体
東京都大会出場権獲得

○第66回府中市民スポーツ大会秋季大会

・剣道 女子中学一年生の部	準優勝	
・バスケットボール女子	準優勝	優秀選手賞
・バスケットボール男子	第三位	優秀選手賞
・バドミントン 中学校男子	第三位	
中学2・3年生女子ダブルス	準優勝	
中学1年生女子ダブルス	準優勝	
中学1年生 女子ダブルス	第三位	
・バレーボール	第三位	